

令和6年度 第1回八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会 会議録

【日 時】 令和6年8月28日（水）14：00～15：15

【場 所】 八代市立博物館 講義室

【出席者】 協議会委員8名

【事務局】 教育長、教育部部長、教育部次長、博物館館長ほか職員10名

【次 第】

- 1 委嘱状交付
- 2 教育委員会挨拶
- 3 協議会会長挨拶
- 4 議題

【議事並びに発言要旨】

(1) 報告事項

- 令和5年度事業報告
- 令和6年度事業報告及び事業予定について
  - (ア) 展覧会活動
  - (イ) 教育普及活動
  - (ウ) 調査研究活動
  - (エ) 資料収集活動
  - (オ) 改修工事について
  - (カ) 博物館利用者のサービス向上のための準備について

**会長  
委員**

ただ今の説明について、何か質問、ご意見等ありませんか。

今回の改修工事にエレベーターまたはエスカレーターの改修が全然含まれていない。前から言っているが、高齢化社会で一番みんなが要望しているのにどうにかしてエレベーターを外付けできないのか。今は館内の通路を通過中のエレベーターでいちいち行くしかなく面倒である。展示内容はとても良いのに直接行けるエレベーターがなく観覧を諦めたという声も聞く。もう永久にエレベーターはつけないのか。今回、30年ぶりの改修という事でここまでするのにどうして盛り込めなかったのか。今は外付けで出来るはず。再検討してもらいたい。

**会長**

前回の会議で事務局から、今回の改修は施設存続のために限定した施設設備改修を行うとの説明があったが、今の要望も含めて対応はどうなっているのか。

**事務局** 前回もお答えしたが、今回の改修は設備の改修がメインとなっているのでエレベーターの新設は叶わなかった。館内には荷物用と、1階と2階を繋ぐ人用として2基のエレベーターがあり、駐車場から玄関の通路を少し広げて入りやすくしたり、植え込みを伐採して車椅子の方がスロープに気づきやすいようにして館内のエレベーターへの案内を分かりやすくする工夫をしていく。また、外付けエレベーターについては、今後長寿命化を考える上で今回は第一段階の改修なので次の調査・判定の段階でも要望をあげていきたいと考えている。

**委員** 収蔵庫の件はどうなったのか。新たに収蔵する予算も収蔵庫の空きもないとの事だが、地元で貴重な資料を持っている人もいるのに収蔵する施設がなくて預けられない状況はもったいない。歴史的な物も多く残っているし郷土の大切な物を保存して文化の薫り高い町にしていきたい。エレベーターや第二の収蔵庫を整えてもっと気軽に来られる環境にしていきたい。そういう要望を私も外部から発言していくが、博物館の中からどンドン言わないと変わっていかない。

**会長** エレベーター、収蔵庫の問題は非常に重要な課題だと思うので、今回の改修では難しかったと思うが、今後の大きな課題としてぜひ実現していきたい。委員からもあったように当事者が熱意を持たなければ伝わらないし、外からの応援の声も足していくべきだと思うのでよろしくお願いしたい。

**事務局** エレベーター、収蔵庫の問題は大きな課題であり、私たちも決して諦めたわけではない。今回の改修は空調と照明の改修予算がようやくついたのでこれをしっかり大事に使って、まずは収蔵品の環境保全を確保するための改修を行ったうえで、次の課題のクリアに向けて頑張っていくので引き続き応援をお願いしたい。

**委員** 教育普及活動の資料を見て、こんなにたくさんの各種講座、出前講座等を学芸員の皆さんが行っているとは今まで認識していなかった。熊日新聞に掲載された記事を読んではいたが、今回の資料の一覧を見て学芸員がフル回転でこれだけの活動をしているのかと驚いた。しかも、内容が調査研究活動の成果を普及活動にアウトプットしている事に感心した。例えば、鹿子木文書についてもまさかこんなに和歌の資料があって、そこに工事の事が歌い込まれているとは知らない人が多いのでは。そういった事を地元で何回も発表したり、また、松井文書に関しても1万点という相当なところまで調査が進んでいて普及活動の発表に生かしている事は、学芸員は大変頑張っていると評価したいと思った。これから改修工事に伴って収蔵品を取り扱う機会も増えて神経を使う仕事も多くなる中でこの調査を進めていくのは大変な事だと思うので、無理をしすぎないようにしていきたい。

**会長** 本当に幅広い活動を行っているという印象である。熊日新聞に出前講座が好評であると大きく取り上げられて地域社会の評価も高まっているようで、

益々職員のみなさんにはご健闘いただきたいと思っている。

**委員** 講義室でも展示が出来るようにピックアップレールを付けてもらおうと部屋が空いている時に展示室として使用できるのでは。特別展示室とここで2つ部屋が出来て色々の事ができるのでは。それを提案します。

**会長** ありがとうございます。職員の頑張りを委員の方も認識されているようです。

～ 引き続き事務局より説明 ～

(2) 協議事項

- 令和7年度事業計画(案)について
  - (ア) 改修工事について
  - (イ) 休館中の博物館事業について
  - (ウ) 令和8年度の事業計画について

**委員** 8年度の秋季展覧会企画として、館蔵品を中心に「休館中に得られた新たな知見も加え郷土の宝を再発見し・・・」と資料にあるが、館蔵品の中にしばらくあまり活用されていなかったものが今回を機会に調書を取り直して何か新しい発見があっているのか。

**事務局** これからの調査での発見に期待がある。これまで発表していなかったものもあるし、今後整理する中での新しい発見に期待を持っている。収蔵品のデータの見直しを図る上で、これまで結びつかなかった個々の点と点が線になり、面になり館蔵品同士の新たな見せ方がいくつかあがっていくのではないかと考えている。そういうところを公開できればと考えている。

**委員** 大変な作業だと思うが新たな館蔵品の魅力が伝わる良い機会だと捉えてチャンスにしてほしい。

**会長** 他に事務局へ質問、ご意見がありましたらお願いします。

**委員** 博物館に来る人は割と限られていると思う。持続可能な博物館にするには、それ以外の人にはいかんして来てもらうのが大事。資料にあるカフェ入店者の募集が何とか出来ないかと思う。私は本を読むのが趣味だが、今はカフェ併設の公共の図書館や民営の本屋がある。博物館にもし入店するなら少人数で運営を行い、メニューを絞って価格も少し安くして、長時間居ても注意されずに本を読んだり勉強したりパソコンで仕事をしたりして自由に過ごせる空間のカフェが良いと思う。そうすれば利用する人が結構いるのでは。わざわざ外のカフェに行かずに博物館に来館する人が増えるのではないか。

**委員** カフェがああ空間にあるだけでちょっと休憩できるし、内外からの眺めも解放感があって良い場所である。席数もちょうどいいしその環境を生かしたカフェにしてほしい。メニューは少なくして美味しいものが良い。利益よりも人が来ることを目標にしてほしい。

**会長  
委員**

採算性を考えると中々難しいとは思いますが募集の仕方を考えてほしい。  
再開館後の展覧会を楽しみにしている。車椅子の母を連れて行った際にはとても丁寧な対応でありがたかった。物理的な問題はあると思うが働く人の対応で随分変わると思うので期待している。私は展覧会の招待券をもらうことがあるが、すでに観覧済の時に知人にあげたら行ってみて大変よかったという話を聞いた。入館者を増やすためには招待券を適度な枚数を市民や県民に配ったり、または紙でなくてもスマホ上でクーポン等を取得できるようにすれば来館のきっかけ作りになるのでは。

また昨年度、鏡中学校で「鏡町の干拓の歴史」をテーマに出前講座を行っているが、自分たちが住んでいる校区、土地がどのように形成されてどのような人たちの努力があって今があるのかを知ることは大事な事でとても良い学びだと思う。併せて千丁や郡築等にも同じ歴史があると思うが、学芸員の専門的な話を聞く機会があればもっと学習の力になると思うので、博物館から提案してみるのもいいのでは。

**事務局**

学校の出前講座については現在は要望があれば行くという形で行っているが少しずつ増えてきているところである。一つ一つの講座を大事にしてまだ利用がない学校にも広がってくれたら良いと思う。ご提案いただいたように働きかけについても積極的に取り組んでいきたい。

**会長**

貴重なご意見、励ましの言葉をいただきありがとうございました。  
報告事項、協議事項共に終了したので、会議の進行を事務局にお返しします。

5 館長謝辞

～ 15時15分 閉会 ～